

建築

お客様の想いをかたちに

建物に求められる機能は高度化、多様化しています。

「サステナブル・ワークス®」「総合力から生まれるデザイン」「魅力再生®」などに持続的に取り組みながら、建築の新たな価値創造にチャレンジしています。



Suntory Kita Alps Shinano-no-Mori Water Plant

サントリー天然水北アルプス信濃の森工場 ー工場から共感フィールドへー

設計施工:竹中工務店



サステナブル・ワークス[®]

当社が提唱する「サステナブル・ワークス[®]」とは、「お客様とともに環境に調和する空間創造を行うことを目指した建築への取り組み」を意味します。持続可能な社会を次世代に手渡すための建築からのアプローチであり、地球環境や社会に貢献したいと願うお客様の想いをかたちにする取り組みでもあります。

サントリー天然水北アルプス信濃の森工場

北アルプスの麓、豊かな山々に磨かれた天然水の工場です。生産拠点であるだけでなく、訪問される方に自然との出会いを通して水の価値に共感していただける体験をご提供するとともに、従業員が誇りをもち、地域のもつ価値を発信する「フィールド」を創出しました。

水の価値・大切さに共感していただける建築・ランドスケープ・自然環境の保全を通じた、地域貢献を目指しています。



水の循環を体験・共感できる「フィールド」

訪問者はまず清流と出会い、地下水脈を感じるアンダーパス、森の散歩道を抜け、森づくりを知る木造空間、天然水について学ぶ展示を経て、水源の山を望む展望テラスへと進みます。自然景観資源をめぐる連続的なシークエンスにより製品への共感が生まれることが期待されます。



県産材をつかった木造空間

緩やかに曲がりながら森の散歩道から続く遊歩道に沿って立ち並ぶ斜め柱が、訪問者をその先に開ける芝生広場へと導きます。長野県根羽村で管理された上質なヒノキの無垢材を柱・梁にそのまま利用した開放的な木造空間としています。



アカマツ林の間伐による落葉樹林の創出

工場と芝生広場の間にあった、老朽化したアカマツ林の間伐することで、広葉樹や下草に日があたり、健全で明るい落葉樹林に転換できました。見学者はこの落葉樹林を抜けて工場に続き、展望テラスから落葉樹林越しに水源の山・北アルプスを望むことができます。



間伐材を最大限活用

落葉樹林への転換のために間伐したアカマツ材を製材・乾燥させ、内装家具(セミナー室の壁、食堂・応接室のフローリングや机、オフィス家具など)及びカフェ棟の柱・梁に利用しています。また木チップにして外構のグラウンドカバー材とするなど、敷地内で広く活用しています。



実生苗の移植や

掘り出した石を用いた景観づくり

工事の影響を受ける林から実生苗を採取・育成し、遊歩道沿いなどに再移植しました。新たな緑化には地域性種苗を導入し、計画地の自然景観資源の保全を図っています。また掘削工事で発生した石を小川の護岸、広場のベンチ、見学ルートの敷石などに活用しています。



北アルプスを感じ、

水の価値・大切さを感じる体験

山に降った雨水が地層深く染み込み20年後に工場製品になるまでを体感したのち、展望テラスで水源の北アルプスを望みながらできたての天然水を味わっていただけます。カフェ棟では天然水を使ったメニューや地元食材を味わい、水の循環の物語を体感できます。

建築

総合力から生まれるデザイン



大阪梅田ツインタワーズ・サウス

歩いて楽しい大阪梅田の起点をつくる

[詳細はこちら](#)

設計施工:竹中工務店(2022)

本建物は街区や一部の官民境界をまたぎ、一体開発を行った百貨店、オフィス、カンファレンスなどからなる大型複合施設です。またこれに伴い歩道や歩道橋、地下道などの周辺公共施設の整備と将来にわたる維持管理や、エリアマネジメントを行い、民間の活力によって快適な都市環境を創造し、歩いて楽しい大阪梅田の起点をつくりました。



官民境界をまたぎ立体的に歩行空間をつなげ、地下の賑わいを地上へ導く都市の吹抜け



内部吹抜けを介してオフィスがまちと立体的につながるエントランス



市松状のアルミパネルに植栽を織り込んで都市環境を向上させ、更にまちに賑わいをもたらすファサード

魅力再生[®]

建物は私たちの生命や財産を守る器であり、社会全体の資産です。☞「魅力再生[®]」は、時を経た建物の機能や美観を回復させ、新たな機能を付加することで資産価値や事業性の向上を目指しています。時代にそぐわなくなった建物の機能や性能の向上、歴史的意義をもつ建物の保存・再生、コンバージョン(用途変更)によるレガシー活用など、多様化・高度化するニーズに企画力・設計力・技術力で応え、持続可能な社会の実現に貢献しています。



明治生命館・静嘉堂文庫美術館

歴史的建造物を活用した美術館

「明治生命館」は昭和期建築として初めて国の重要文化財指定を受けた建造物です。オリジナルの西洋古典様式による意匠を保存しつつ、1階ラウンジに金属やガラスを用いた現代的な意匠を付与し、新旧が共鳴する重層的な美術館空間を創出しました。

☞ 詳細はこちら

設計: 竹中工務店

施工: 竹中工務店・丹青社(2022)



立誠ガーデン ヒューリック京都

未来につなぐ新たなまち

1869年に京都の木屋町に開校した旧立誠小学校の跡地活用の計画です。高瀬川に面する旧校舎をゲストルームに改修し、その背景となるよう増築棟を配置しました。外観を調和させた増築棟の最上階には、東山を一望できるロビー、テラスを設けています。グラウンドであった「立誠ひろば」は、高瀬川に開かれ、これまで同様に地元の祭りや運動会が催されるなど、ゲストと地域の人々が交わり新たな賑わいが生まれることを目指しました。

☞ 詳細はこちら

第32回BELCA賞

設計: 竹中工務店

施工: 竹中工務店JV(2020)



海外

お客様のグローバルな事業活動をサポート

長い歴史をもつ当社の海外活動は、1960年のアメリカ進出をきっかけに本格化し、現在では世界各地にネットワークを広げています。

海外進出を目指す日本企業、各国公的機関や現地企業などをお客様に、国際空港から超高層オフィス・ホテル・工場・商業施設など、多彩なプロジェクトを手掛けてきました。設計施工はもとより、技術支援・コンサルティング業務など、活動範囲も多岐にわたっています。

ヨーロッパ13カ国
アジア7カ国・中国
アメリカ

■ アジア / ■ 中国

タイ、シンガポール、インドネシアでは拠点設立から50年、マレーシアは34年、中国は21年、インドは14年目を迎えました。2017年にはベトナムに拠点を設立し、現在8カ国で展開しています。中国を含めたアジア地域への駐在員は約140名、ローカルスタッフは約1,700名が活動しています。プロジェクトの規模や建築種別にかかわらず幅広く対応しています。



パシフィック センチュリー プレイス
ジャカルタ (2017 インドネシア)



キャピタグリーン
(2014 シンガポール)



イオンモール ジャカルタガーデンシティ (2017 インドネシア)



チャンギ空港 第4ターミナルビル (2017 シンガポール)



無錫村田電子有限公司第二工場 (2020 中国)

開発

まちづくりで新たな価値を創造する



設計施工:竹中工務店

東京、横浜、名古屋、大阪都心部において当社は数々の都市再生プロジェクトの企画や設計、施工を手掛けてきました。また、市街地再開発事業やPPP/PFI事業、自社開発事業、まちづくり組織への参画なども積極的に行っています。当社はまちづくりへの様々な取り組みを通じて、国際競争力の強化、安全・安心の向上、環境共生など、都市が抱える課題解決や新たなニーズへの対応に貢献しています。

【市街地再開発事業】 渋谷 パルコ・ヒューリックビル

渋谷の魅力向上に資する新たなタイプの都市再生特区提案の支援、特定業務代行者として再開発事業の推進、設計・施工、エリアマネジメント運営支援などを行いました。まちの界限性を建物外周部に立体街路として取り入れ、個性的な店舗や劇場、事業化支援施設、オフィス、広場などを有機的に連携させ、ファッション・アート・演劇文化の育成・情報発信拠点として、まちづくりに貢献しています。 [☞詳細はこちら](#)



横浜市役所

横浜市の行政・議会機能に加え、文化芸術事業などが行えるアトリウムを備える新市庁舎です。設計・施工者として基本設計から参画し、開かれた市庁舎と新たな都市景観の創出に取り組むだけでなく、ワークショップやシンポジウムなどにより、市民の関心向上や地域貢献活動を行いました。

[☞詳細はこちら](#)

設計・監理:竹中工務店・横総合計画事務所
NTTファシリティーズ
施工:竹中工務店(JV)



大阪梅田ツインタワーズ・サウス

西日本最大のターミナルに位置する百貨店・オフィス・カンファレンスホールの複合施設です。道路上空を活用して隣接する2つの街区のビルを一体的に建替えるとともに、歩道やデッキなどの周辺公共施設整備を行いました。当社は実施設計、各種申請、施工、企画支援と、本開発の周辺地域のエリアマネジメントを担っています。

[☞詳細はこちら](#)

基本設計:日本設計
設計施工:竹中工務店



あべのハルカス・てんしば

高さ日本一の「あべのハルカス」と、近傍に完成した広大な芝生広場をもつ公園リニューアルプロジェクト「てんしば」は、周辺エリアに大きなインパクトをもたらしました。いずれも当社で企画支援、設計・施工したもので、エリア全体の集客と魅力の向上に貢献しています。

[☞詳細はこちら](#)

あべのハルカス
設計・監理:竹中工務店
外装デザイン:竹中工務店+ペリクラー クペリアーキテツ
施工:竹中工務店(JV)
てんしば
設計施工:竹中工務店

※アンダーラインの物件は、SPCなどへの事業参画及び自社開発としての取り組みです



[PPP/PFI事業]

名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや) 第1展示館

本事業は、施設の老朽化と、MICE誘致における都市間競争に対応するため、名古屋市が新たに第1展示館の整備・維持管理をするPFI事業者を募集したものです。当社は代表企業として2018年に当選を果たし、2022年10月に開業しました。金城ふ頭駅から当施設を経て他の施設へつなぐ歩行者ネットワークの整備や、金城ふ頭地区における新たなランドマークとなる特徴的なデザインにより、まちづくりにも貢献しています。

☞詳細はこちら

設計:久米・竹中設計共同体 監理:久米設計 施工:竹中工務店



[国内開発事業]

京都東山計画(山荘 京大和・パーク ハイアット 京都)

当社の自社開発として、開発から設計・施工・運営まで一貫して手掛けたプロジェクトです。2019年10月、京都の街と八坂の塔を同時に望むことができる絶好のロケーションに、70室のラグジュアリーホテルが誕生しました。「山荘 京大和」が引き続き料亭事業を行う歴史的建築物や庭園などを保存・復元することで、伝統と新しい文化を融合させてきた京都らしさを取り入れました。

☞詳細はこちら

設計施工:竹中工務店 インテリアデザイン:トニーチー+竹中工務店
作庭:北山安夫



完成予想パース

うめきた開発

JR大阪駅の北側で、1期(グランフロント大阪)・2期(うめきた2期地区)を合わせて区域面積24ha、総延床面積100万㎡を超えるまちづくりを進めています。当社は企画・設計・施工の役割に加え、共同事業者として開発に参画しています。

グランフロント大阪(1期)

先行開発区域約7haで、延床面積約57万㎡の大規模複合開発です。2013年に竣工しました。

☞詳細はこちら

基本設計:日建設計、三菱地所設計、NTTファシリティーズ
実施設計:日建設計、三菱地所設計、NTTファシリティーズ
竹中工務店、大林組
施工:竹中工務店(JV)

うめきた2期地区

(2024年夏頃 先行まちびらき、2027年度 全体開業)
開発事業者が、中央の都市計画公園(4.5ha)と民間宅地を一体的に整備・開発・運営する新しいまちづくりプロジェクトです。

設計:(南街区賃貸棟)三菱地所設計、日建設計、竹中工務店、大林組
(北街区賃貸棟)日建設計、竹中工務店
(北街区分譲棟)竹中工務店、日建ハウジングシステム
施工:竹中工務店(JV)



完成予想パース

大手センタービル

当社が東京・大手町に手掛けている開発事業プロジェクトです。利便性の高い立地条件を備え、新しいビジネスニーズに対応した継続的なリニューアルにより、ロング・ライフ・ビルディングとして快適なビジネス環境を提供しています。

設計施工=竹中工務店

Press Block

米国オレゴン州ポートランドにおける高層賃貸住宅の再開発事業です(2025年完成予定)。現地不動産会社との共同事業で、当社は日系出資者のマネージャーとして参画するとともに建設モニタリング業務も提供し、総合力を活かした開発スキームとなっています。

☞詳細はこちら

エンジニアリング

お客様の課題に最適なソリューションを

市場変化に追従したスピーディーな対応、高度な建物環境、様々な安全・安心が求められています。当社は、お客様のニーズに対し、企画段階から計画・設計・施工・アフターケアまでトータルエンジニアリングでお応えします。

レジリエンス向上ワンストップサポート

近年、台風や豪雨に伴う浸水被害、巨大地震や火山噴火リスクなどを背景に、レジリエンスへの関心が高まっています。当社は、様々な災害に対して、あらゆるフェーズでレジリエントな企業・組織づくりの推進を、専門部署がワンストップでサポートしています。現代都市が経験したことのない災害に対する事前対策、発災直後の対応力を高めるソリューションの整備にも注力しています。当社は、レジリエンスソリューションを通じてお客様やまちの安全・安心に貢献しています。

当社のレジリエンスに関するサポート





長崎スタジアムシティ完成予想図

スタジアム・アリーナから始まるまちづくり

スタジアム・アリーナを中心としたまちづくりにより新しい風景をつくりだすことで、感動と誇りにあふれ、生活をより豊かに、まち全体が活性化できます。当社は5大ドームをはじめとするスタジアムやコンサート会場などとしても利用されるアリーナまで、数多くのスポーツ・イベント施設を手掛けてきました。スタジアム・アリーナをまちの中核と捉え、周辺街区やエリアを含めた計画において、構想から企画、設計、施工、運用のあらゆるフェーズでスマートなまちづくりに貢献します。

スマートビルディング&エネルギーマネジメント

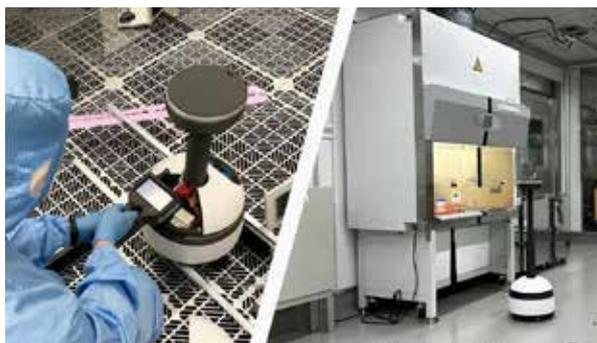
☐「ビルコミ®プラス」は、スマートビルを実現するパッケージ技術です。データプラットフォーム「ビルコミ®」に、環境の変化を測る「IoTセンサーネットワーク」や建物の利便性を高める様々な「アプリメニュー」がつながり、建物機能を高めることができます。

更に、分散電源マネジメントシステム☐「I.SEM®」、小型直流統合電源☐「MSEG®」との連携により、再生可能エネルギー活用やVPP(バーチャルパワープラント)対応、BCP対応が可能となります。



ヒトとロボットの協働

建設作業所での省人化などで培ったロボット技術を利用し、人手不足解消や非常時のサポート、移動支援などヒトとロボットが共存する魅力あるまちづくりを目指しています。エレベータやセキュリティドアとロボットが連携することで、建物内・外でロボットがどこでも活動可能な空間を提供しています。また、医薬品・半導体などのクリーン環境下におけるロボットサービスについても技術開発を進めています。



クリーン環境でのヒトとロボットの協働

技術開発

サステナブル社会に技術で貢献



竹中技術研究所

社会情勢は目まぐるしく変化しており、お客様のニーズはますます多様化・高度化しています。当社は建設基盤領域に留まらず、地球環境の保全や明るい未来の実現といった社会課題に応える技術開発にも積極的に取り組んでいます。

未来を見据えた技術開発の取り組み

目覚ましい技術の進歩とともに多様化・高度化するお客様の課題に迅速に応えるため、当社はオープンイノベーションを積極的に取り入れ、最先端の技術開発を加速しています。その推進に当たっては、場所や形態に捉われないフレキシブルな技術開発の仕組み「竹中オープンラボ機構」を活用しています。この機構は、竹中技術研究所を研究開発の中核として、世界最先端の技術探索を行う米国シリコンバレーの活動拠点TAK-GRIT、国内外各地にある共創企画の拠点 **COT-Lab®**、共創実践の場としての産官学連携活動で構成されています。これらの仕組みを活用し、当社は従来の課題解決型の技術開発に加えて、潜在的な課題を自ら見出して解決に導く課題創出型の技術開発も実践しています。



コミュニケーション促進システムを活用した共創活動



COT-Lab®大手町



COT-Lab®新橋



COT-Lab®グランフロント



COT-Lab®シンガポール

建設工事のDX実現

近年の建設業界では、DX(デジタル・トランスフォーメーション)による建設工事の生産性向上が急務となっています。当社は2025年大阪・関西万博の会場となる夢洲地区などにおいて、建設資材や作業員を運搬する車両の公道での自律走行や、建設資材の空中輸送や巡回監視を行うドローンの自律飛行に向けた**実証実験**を進めています。また、これらの実現に不可欠な現実世界と仮想空間を結び付けるデジタルツイン技術の開発も行っています。これらの技術は、まちの基幹インフラの一つである陸空物流サービスとしての活用が期待されます。



3D都市モデル(PLATEAU)による運搬車両の自律走行実験

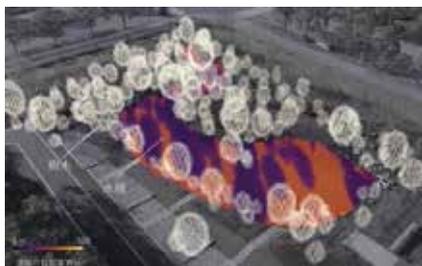


ドローンの自律飛行実験

ネイチャーポジティブの達成

竹中技術研究所内のグリーンインフラ・生物多様性保全の研究開発フィールド**「調の森 SHI-RA-BE®」**が環境省の**「自然共生サイト」**に認定されました。この施設では、敷地内の樹木配置のシミュレーションにより暑熱環境や緑量を最適化する技術、平時には地域固有の景観を創出する一方で豪雨の際には雨水を一時的に貯留して都市の下水道インフラを守る技術などの実証実験を行っています。

ここで開発された技術は、地域の生態系と調和し、人と自然との共生を目指す様々な屋外空間に適用されます。



樹木最適配置シミュレーション



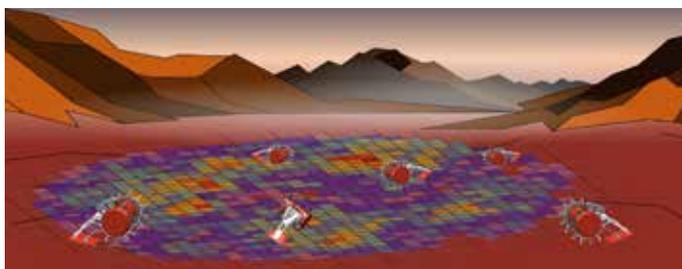
雨水貯留浸透技術レインスケープ®の効果実証の様子

未踏領域への挑戦

未知への挑戦と可能性を秘めた極限の地。当社の技術開発の目は南極や宇宙といったフロンティアにも向けられています。南極の内陸部は年平均気温マイナス50℃以下という極寒の地です。当社はこの過酷な環境下で、建設資材の輸送方法や耐久性の確保、限られた人員による建設といった課題解決に取り組むため、**当社社員を第64次南極地域観測隊員として派遣**しました。また、将来の月や火星への移住を見据え、群ロボットによる建設候補地の自律探査の実現に向けた研究を進めています。このような過酷な環境に対応できる技術は、一般建物の設計・施工や運用にも活かされます。



南極での軽量・高耐久建材組み立ての様子
(63次同行岩手日報記者撮影)



群ロボットによる建設候補地の自律探査イメージ

グループ会社

国内主要グループ会社の事業活動



北陸新幹線敦賀駅高架橋(左)、上野知ウインドファーム(右上)、東名横浜青葉IC耐震補強(右中)、廣野ゴルフ倶楽部でのICT技術を用いた測量(右下)



まちのライフサイクルのあらゆるステージにおいて、当社をはじめグループ各社は、お客様の多様なニーズにお応えします。

■ 竹中土木

人と環境にやさしいものづくりでサステナブル社会を実現する

竹中土木は、竹中グループの土木分野を担う会社として1941年の設立以来、「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」という経営理念を掲げ、ダム・トンネル・橋梁・土地造成などの社会資本整備を通じ、人々の暮らしが豊かになるように努めてきました。また近年では、ますます激甚化する自然災害に対して、「強くしなやかな国土をつくり人々の暮らしを守る」という建設業の使命のもと、国土

強靱化や防災・減災への対応、そして社会資本の長寿命化にも注力しています。また、担い手不足が叫ばれる建設業界の中でDXを推進し、ICTを活用した生産性向上への取り組みを積極的に行っています。

今後も、私たちは「人と地球の架け橋に」というコーポレートメッセージを全従業員が共有し、豊かで多様な暮らしと産業を支えるインフラ基盤の整備、脱炭素社会や自然共生社会に向けた新たな分野へのチャレンジを行い、「サステナブル社会」の実現に貢献していきます。

■ アサヒファシリティズ

お客様の建物価値と安全を守る

アサヒファシリティズは、1969年の設立以来、全国のオフィス、病院、ホテル、商業施設など様々な建物において、お客様の最良のパートナーとして、建築及び設備の維持保全、警備、清掃などを提供するビルマネジメント事業、不動産の収益を向上させるプロパティマネジメント事業、損害保険を中心とした保険代理事業などをワンストップで提供しています。建物は、その機能を長期にわたって発揮してこそ優良な資産となります。私たちは、「建物管理のプロ」として、「技術力、対応力、提案力」を発揮し、更に、最先端のICTによる最適化を実践することで、建物管理に求められる高度化・多様化したニーズに応え、省エネルギーや廃棄物削減などの環境保全に取り組み、建物をお客様の優良な資産として見守り続けます。



次世代の建物管理を実現する「集中管理センター」



モバイル端末による点検・検針



ロボット活用による生産性向上

■ 朝日ビルド

熟練技能とIT技術の融合でランドマークを築く

竹中工務店高等職業訓練校を起源とした朝日ビルドは、2023年で創立53周年を迎えました。竹中グループの一員として、型枠・鉄筋工事事業と派遣事業で貢献しています。豊富な施工経験をもつベテランと専門技術を備えた若手がともに活動している躯体工事のプロフェッショナル集団です。最近では、熟練技能者による“技”とIT技術を融合させ、多彩なデザインの作品創りに挑戦してきました。また派遣事業では、人材ひっ迫の中、竹中工務店作業所や内勤部門に技術者を派遣し、生産性向上と品質の確保に努めています。



東洋陶磁美術館増築(左)、同志社香里中学校・高等学校 メディアセンター 繋真館(右上)、ヤンマーサンセットマリナークラブハウス(右下)

■ TAK-QS

信頼性・公平性の高い積算により、良質な社会資産の創出に貢献する

TAK-QSは、竹中工務店の建築積算を担当する会社として、主に竹中工務店見積部から仕上・躯体・鉄骨・設備の積算業務を受託し、2023年に創立20周年を迎えました。竹中工務店広域事業部制に沿って東京・名古屋・大阪に事業部を設置し、約100名の社員がTAK-QSのモットーである「はいQuality、はいSpeed!」のもと、高品質でスピード感のある積算情報を提供し続けています。

TAK-QSは今、建築積算に求められる高度化へ向けて「BIMモデルを活用した設計と積算のデータ連携」による積算業務の効率化を進めています。建物のあらゆるステージで求められる積算ニーズに応えていくことで業務領域を拡大し、竹中グループ全体の業務の効率化・生産性の向上に貢献していきます。

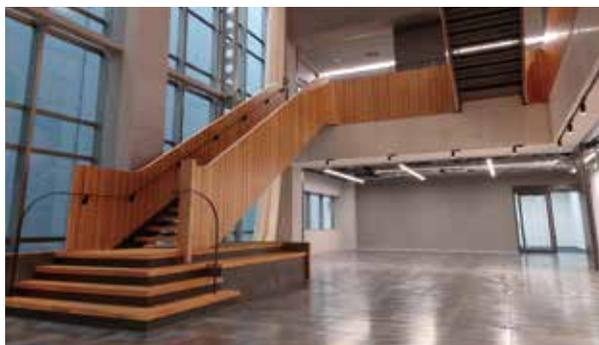


BIMモデルを活用した数量チェック・確認

■ TAKリビング

人々の心と暮らしを支える快適な空間づくり

TAKリビングは、造作木工・家具工事とリニューアル工事を事業の柱とし、創業以来培ってきた木の専門技術と木工場をもつ専門工事会社として「最良の作品づくり」を支えてきました。設計協力からアフターサービスまでの一貫体制のもと、幅広い分野でお客様の想いを“かたち”にしています。近年では、木工事に加えて内装一式工事も手掛けるなど、作品・サービスの両面でお客様のニーズに応えることを心がけています。今後も“確かなものづくり”を通して、広く社会に貢献していきます。



竹中セントラルビル サウスでの木・内装一式工事

■ TAKエンジニアリング

安定的な人材の確保と育成

TAKエンジニアリングは、「人材派遣」「外部人材管理」「アウトソーシング受託」「人材紹介」を事業の柱としており、竹中グループのネットワークを活かしながら、人と企業のベストマッチングを目指しています。グループ各社に人材を派遣するとともに、300社を超える人材派遣会社との連携により、タイムリーかつニーズに合致した人材の確保を行っています。また近年は、外国籍技術者の活用をサポートするため、オンラインも交えた施工図教育や竹中技術実務研修センター「想」における特別教育を実施しています。今後も、建設業界の慢性的な人手不足と時間外労働の上限規制、ワークライフバランスの向上等の課題に対応できるよう、知識と技術をもった人材の提供に努め、「ものづくり」の楽しさを共有し、社会に貢献できる職場の実現をサポートします。



竹中技術実務研修センター「想」での配筋チェック実習